

# 私達の長穂

新春号

編集発行

住みよい長穂を  
つくる協議会  
長穂公民館

No.

191

H 一四一一

新年おめでとう申し上げます。

市役所長穂支所長 八木和彦  
輝かしい新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

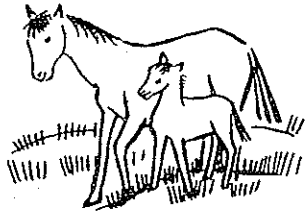
昨年は、支所・公民館共々、一方ならぬご協力を賜り厚くお礼を申し上げます。お陰をもちまして、何れの行事も順調に行なうことが出来ました。

昨年の地域の主な出来事を振り返りますと、四月には長穂・向道中学校が統合され、新たに翔北中学校が開校しました。そして現在、長穂児童園も三月の完成を目指し建設が進んでいます。また、昨年の暮れには、農地の基盤整備のため東部圃場整備事業が本格的に始まり、黒木川の改修工事で支所前の猪迫橋が架け替えられるなど、二十一世紀のスタートに相応しい一年でした。

しかしその一方で、世の中では、近年にない諸々なことが起こり、暗く厳しい年でしたが、その中で何より明るい話題は、「敬宮・愛子」様の御誕生ではなかったでしょうか。健やかな御成長を心からお祈り申し上げる次第です。

さて、今年は「午」年です。天に向かつていなく馬のごとく、元氣はつらつ力強く、そして、不景気を吹き飛ばす如く馬車馬のように突き進みたいと思っております。

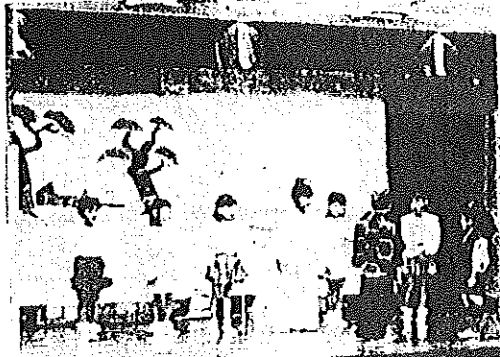
年頭にあたり、皆様方のご健康ご多幸と、地域の発展を心からお祈り申し上げますと共に、支所・公民館職員一同、今年もよろしくお願ひ申し上げます。



長寿会とのしめ縄づくり 翔北中学校 12月15日



長穂児童園の生活発表会



続

翔北中学校 開校によせて (7)

建設場所について  
教育委員会提案の平地案⑥(図面は前号を参照)について各地区(大向、大道理、長穂)での教育委員会主催の提案説明会では次の意見集約があった。

- (1) 向道、長穂中学校統合推進協議会の合意場所では、なぜいけないか。
- (2) 教育委員会は、建設場所は地元で決めてほしいと説明されたのに、なぜ変更するのか。
- (3) 歴史的な背景、地域性を考えた場合平地案では将来にしこりを残す。
- (4) 平地であれば長穂に吸収された感じになり、向道地区にとつては、何も良い点はない。
- (5) 造成費が多少多くかかっても、年数の経過により相殺される。

- (6) 平地案に異存はない。
- (7) 向道、長穂中学校統合推進協議会が台意した場所ではないのか。
- (8) 大向地区には、通学途中の事故等を考えスクールバス等地元が納得する条件を提案してほしい。

各地区とも、平地に建設という考えは変わらないのかの意見があった。  
統合推進協議会三役で教育委員会へ平成六年十月二十日、教育委員会にて右記の、各地区での説明会の結果報告を受け、協議の結果、教育委員会より平地案にはこだわらないとの撤回がなされ、統合推進協議会より今までの経過をふまえての新しい提案を期待して早期に、統合中学校の実現に努力する事を確認

向道、長穂中学校統合推進協議会開催  
平成六年十月二十八日、推進協議会を開催し、協議会提案の第一案(①と③)、教育委員会提案の平地案(⑤)も撤回し、西山集落地区(②)を提案出来るだけ、三十五号線に近づく事を確認、推進協議会三役で、平成六年十一月十九日西山集落の現地視察を行う事を了解された。

向道、長穂中学校統合推進協議会開催  
十一月十九日協議会三役での現地視察を終えて、平成六年十一月二十六日に現地で対策協議会を開催。  
次回 は建設場所決定について  
元 長穂中学校統合推進協議会 幹事 齊藤 隆夫

◇ がんばりました ◇  
小学校の部

◎ 山口県学校美術展覧会  
絵画の部 優良 三年 森木 ひとみ  
立体の部 優良 三年 共同制作 14名

◇ 慶弔近報 ◇  
死亡 (お悔み申し上げます)

儀違昭次 H 13 12 13 (男) 山手

◇ 一月行事予定 ◇

- 中8火 始業式、生徒会任命式
- 小9水 給食開始
- 小10木 校内書き初め大会
- 公14月 駅伝大会。どんと焼き
- 中16水 百人一首大会
- 小17木 参観日(教育講演会)
- 中19土 伝統芸能継承活動(踊り)
- 中29月 三年学年末テスト
- 中29火 三年学年末テスト
- 小30水 学校保健委員会

記 皆様明けましておめでとうございま  
後 す。昨年の漢字は「戦」今年の漢字  
編 集 は「和」でありたいこの一年。私達  
の長穂よろしくお願ひ致します。 學